

令和8年4月8日
小樽開発建設部

令和8年度北海道開発事業費

(小樽開発建設部実施分)の概要について

令和8年度北海道開発事業費（小樽開発建設部実施分）について、別紙のとおりお知らせします。



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

全体	広報官	わたなべ 渡部	しげみ 成美	(0134-23-9910)
河川関係	工務課長	やまざき 山崎	ひでお 英雄	(0134-33-0525)
道路関係	道路計画課長	なかじま 中嶋	きよはる 清晴	(0134-23-5229)
港湾・水産関係	築港課長	はまだ 浜田	かずや 和哉	(0134-23-5205)
農業関係	農業開発課長	いわぶち 岩渕	なおと 直人	(0134-23-9634)



令和8年度

北海道開発事業費の概要
(小樽開発建設部実施分)

令和8年4月

小樽開発建設部

目 次

I 令和8年度 小樽開発建設部事業費総括表	1
II 小樽開発建設部関係事業概要(事業別)	
治水事業	2
道路事業	3
港湾整備事業	7
農業農村整備事業	8
水産基盤整備事業	9

令和8年度 小樽開発建設部事業費総括表

(事業費)

(単位：百万円)

事 項	予 算 額	備 考
治 水	767	
道 路	24,392	
港 湾 整 備	2,431	
農 業 農 村 整 備	1,554	
水 産 基 盤 整 備	1,526	
合 計	30,670	

注) 1. 治水には都市水環境整備を含む

2. 農業農村整備及び水産基盤整備を除き、工事諸費は含まれていない

3. 四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある

治水事業



一級河川尻別川（国管理延長 24.2km）では、気候変動に伴う水害・土砂災害等の激甚化・頻発化に備えるため、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む流域治水を更に加速化・深化させるためにとりまとめた「尻別川流域治水プロジェクト 2.0」に基づき、河道掘削、地震津波対策、水害タイムラインによる防災訓練など、ハード・ソフト一体的な防災・減災対策に取り組みます。

また、安全・安心な社会基盤の形成に向けて、「第1次国土強靱化実施中期計画」に基づき、国土強靱化の取組を着実に推進するとともに、河川空間利用に関する情報を効果的に発信するなど、農林水産業や観光等を担う「生産空間」の維持・発展に貢献します。

令和8年度は、河川改修として洪水を安全に流下させるための河道掘削等、河川維持修繕として堤防・樋門等の施設機能を保持するための河川管理施設の点検整備等を実施します。



河道掘削



堤防管理



尻別川サイクリングコースマップ

治水事業の概要

事業別	地区別等	事業の概要
河川改修	尻別川	河道掘削等
河川維持修繕	尻別川	堤防管理、水閘門等維持管理、河川巡視等

国土交通省

川の防災情報

"気象" × "水害・土砂災害" 情報マルチモニタ

かわたび
ほっかいどう

KAWATABI HOKKAIDO

川へ行こう！ 川を楽しもう！

北海道総合開発計画のもと、川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等、川に関する情報を効果的に発信するとともに、地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」プロジェクトを推進しています。

道路事業

1. 北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成

○ 高規格道路ネットワークの整備

生産空間の食・観光等の基幹産業を支えるとともに、国土の強靱化を確保し、地域間の連携強化を図るための高規格道路の整備を推進します。

- ・国道5号 蘭越倶知安道路（ニセコ～倶知安）延長 11.7km
- ・国道5号 倶知安余市道路（倶知安～共和）延長 11.5km
- ・国道5号 倶知安余市道路（共和～余市）延長 27.6km



国道5号 倶知安余市道路(共和～余市)

2. 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり

○ 「シーニックバイウエイ北海道」の推進

「シーニックバイウエイ北海道」において、特に魅力的な景観等を有する道路であるシーニックバイウエイ「秀逸な道」について、多様な主体の連携のもと、景観の維持・形成、情報発信の取組を推進します。

また、小樽開発建設部管内では、「支笏洞爺ニセコルート」が活動しており、地域と協働した取組を推進します。



八幡ビューポイントパーキング
(国道276号倶知安町)

○ サイクルツーリズムの推進

世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向け、安全で快適な自転車走行環境の整備やサイクリストの受入環境の充実、情報発信及び地域独自の取組など、官民一体となって推進します。

小樽開発建設部では、「羊蹄ニセコエリアサイクルルート」があり、ルート協議会と連携し、道路空間を安全に共有する「シェア・ザ・ロード」の意識醸成に向けて多様な主体と連携した取組を推進します。



シェア・ザ・ロードの取組
地域のバス、運送会社にステッカーを配布

3. 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○ 災害からの迅速な復旧と早期の日常生活・経済活動の再開に資する防災・減災対策

気候変動に伴い激甚化・頻発化する気象災害、切迫する大規模地震や急速に進む施設の老朽化等に対応するべく、災害に強い国土幹線道路ネットワーク等を構築するため、高規格道路ネットワークの耐災害性強化や老朽化対策等の抜本的な対策を含めて、防災・減災、国土強靱化の取組の更なる加速化・深化を図ります。

- ・ 国道 5 号 蘭越倶知安道路（ニセコ～倶知安） 延長 11.7km
- ・ 国道 5 号 倶知安余市道路（倶知安～共和） 延長 11.5km
- ・ 国道 5 号 倶知安余市道路（共和～余市） 延長 27.6km
- ・ 国道 229 号 島牧防災 延長 6.1km



国道 229 号 島牧防災（島牧村）

○ 防災、通行の安全、景観の向上に資する無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から実施している電柱の新設抑制及び無電柱化について、低コスト技術等の導入や P F I 事業の活用により、事業のスピードアップを図ります。

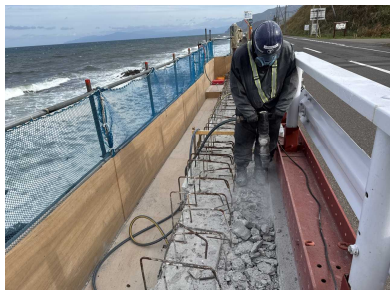
- ・ 国道 5 号 倶知安地区電線共同溝、小樽花園第二電線共同溝
- ・ 国道 229 号 余市駅前電線共同溝



国道 229 号 余市駅前
電線共同溝（余市町）

○ **社会経済活動を支える道路施設のインフラ老朽化対策**

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。



橋梁補修(地覆部)



トンネル補修(剥落対策)

○ **冬期交通の確保**

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格道路の整備、国道における防雪対策、防災訓練や住民の意識啓発等を推進します。また、大雪・暴風雪時の取組として、道路管理者間で連携した高速道路通行止め時の並行路線対策やラジオ放送・SNSを活用した情報発信、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊：リエゾン※を含む）の派遣による自治体支援などを、円滑かつ迅速に、きめ細やかに実施します。

(※リエゾン：重大な災害の発生または発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として地方公共団体へ派遣する職員)



冬期交通の安全確保



SNSを活用した情報発信

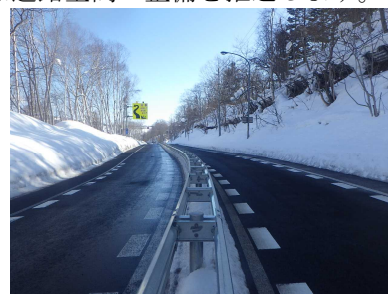
○ **安全・安心な移動環境の確保**

事故多発区間での事故データを用いた分析やビッグデータを活用した潜在的危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン※」を推進します。

また、生活道路における速度抑制や通過交通の進入抑制を図る面的対策の検討において、ETC 2.0プローブデータを活用した分析により自治体を支援し、安全・安心な道路空間の整備を推進します。

(※事故ゼロプラン：交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組)

- ・国道 229 号 来岸路肩改良【令和 8 年度新規事業化】
- ・国道 230 号 川上中央帯整備、尻別路肩改良
- ・国道 276 号 北岡路肩改良
- ・国道 393 号 落合線形改良



交通安全対策(中央帯整備)

○ 「道の駅」の防災拠点化

近年、激甚化・頻発化する自然災害に備え、各地で広域的な復旧・復興活動の拠点整備が進められており、地域防災計画に位置付けられた「道の駅」において、防災拠点の整備や機能向上を図っています。

令和3年6月には、地域防災計画等で広域的な防災拠点に位置付けられている道の駅のうち、小樽開発建設部管内では「ニセコビュープラザ」が「防災道の駅」に選定されています。また、「ニセコビュープラザ」及び「230ルスツ」が、令和4年3月に広域災害応急対策の拠点として「防災拠点自動車駐車場」に指定されています。

さらに、令和7年12月には、「ニセコビュープラザ」に道内の「道の駅」としては初となる防災用コンテナ型トイレを設置し、平常時はバス待合室、非常時には停電・断水下でも利用可能なトイレ及び更衣室として活用することで、防災機能の強化を図っています。

「防災道の駅」をはじめとする地域防災計画に位置付けられた道の駅においては、引き続き、BCPに基づく防災訓練等の支援を重点的に進めていきます。



道内初の防災用コンテナ型トイレ(道の駅「ニセコビュープラザ」)

道路事業の概要

路線名	主要事業	
国道5号	高規格道路の整備	蘭越倶知安道路(ニセコ～倶知安) 倶知安余市道路(倶知安～共和) 倶知安余市道路(共和～余市)
	無電柱化	倶知安地区電線共同溝、小樽花園第二電線共同溝
	老朽化対策	道路構造物修繕(橋梁、トンネル、横断歩道橋)
国道229号	防災対策	島牧防災
	無電柱化	余市駅前電線共同溝
	交通安全対策	来岸路肩改良(積丹町)【令和8年度新規事業化】
	老朽化対策	道路構造物修繕(橋梁、トンネル、シェッド)
国道230号	交通安全対策	川上中央帯整備(喜茂別町)、 尻別路肩改良(喜茂別町、留寿都村)
国道276号	交通安全対策	北岡路肩改良(京極町)
	老朽化対策	道路構造物修繕(橋梁)
国道393号	防雪対策	雪崩予防柵整備
	交通安全対策	落合線形改良(赤井川村)

港湾整備事業

港湾整備事業では、産業を支える物流ネットワークの機能強化や安定性確保を図るため、重要港湾の小樽港及び石狩湾新港、地方港湾の岩内港の整備を行います。

小樽港では、港内静穏度の向上を図るための防波堤の改良及び岸壁の老朽化対策を行います。また、石狩湾新港では、水深不足による非効率な輸送を解消するための新たな岸壁の整備を進めます。岩内港では、物揚場の老朽化対策を実施します。



石狩湾新港水深 12m岸壁
整備状況



岩内港水深 3m物揚場
整備状況

港湾整備事業の概要

港湾名	地区名	事業の概要
＜重要港湾＞ 小樽港	本港地区 勝納地区	北副防波堤改良 水深 10m 岸壁改良
	東地区	水深 12m 岸壁 水深 12m 航路・泊地 水深 12m 泊地 港湾施設用地
	本港地区	北防波堤
＜地方港湾＞ 岩内港	本港地区	水深 3m 物揚場改良

農業農村整備事業

農業農村整備事業では、地域の食料供給力や産地収益力を向上させ農林水産業の持続的発展を図るため、国営かんがい排水事業「中後志地区」を実施し、水需要変化に対応した用水再編と老朽化したダム・頭首工・用水路を整備し戦略的な保全管理を推進するとともに、生産コスト低減に向けた農地の大区画化、担い手への農地の集積・集約化等を行う国営緊急農地再編整備事業「ニセコ地区」を実施します。



中後志地区
用水路改修工事の実施状況



ニセコ地区
農地の区画整理工事の実施状況

農業農村整備事業の概要

事業種別	地区名	関係町村名	受益面積	計画概要
国営かんがい排水事業	中後志地区	京極町 倶知安町 共和町	2,893ha	ダム改修 1か所 頭首工改修 1か所 用水路改修 5条
国営緊急農地再編整備事業	ニセコ地区	ニセコ町	1,490ha	区画整理 1,490ha

水産基盤整備事業

水産基盤整備事業では、沿岸漁業等の生産・流通拠点、また、周辺海域で操業する漁船の陸揚げ及び避難拠点として重要な役割を担う第3種漁港、第4種漁港の整備を実施しています。

古平地区では、港内静穏度向上のための防波堤の改良整備、美国地区では、漁業就労環境の改善を図るための屋根付き船揚場の整備、寿都地区では、ホタテ養殖漁業の衛生管理対策のための岸壁の整備を実施します。また、漁港施設の長寿命化を図るため、古平漁港において船揚場の補修、美国漁港において航路の浚渫、岸壁の補修を実施します。



古平地区 東防波堤（改良）整備状況



寿都地区 南ふ頭整備状況

水産基盤整備事業の概要

事業区分	地区名	事業の概要
特定漁港漁場 整備事業	古平地区 (第3種古平漁港)	外郭施設：東防波堤(改良)
	美国地区 (第3種美国漁港)	係留施設：船揚場(改良)
	寿都地区 (第3種寿都漁港)	外郭施設：南防波堤 係留施設：水深3.5m岸壁(南) 水深3.0m岸壁(南)
	小樽管内地区	【古平漁港】 係留施設：船揚場(補修) 【美国漁港】 水域施設：水深5.0m航路(補修) 係留施設：水深5.0m岸壁(補修)